

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 真心

## 目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 08 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	入居時に重度化や終末期の説明をしているが、利用者や家族に再度確認し、今後の方針を、明示し、記録として残していく。	ターミナルケアの指針を作成し、利用者の重度化に向けた支援体制と、ホームで支援出来ること、出来ないことを説明し、理解してもらい、重度化に向けた方針を関係者で共有していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	避難訓練をホーム近辺の職員と、協力して実施しているが、地域住民やの協力を得て、参加をしてもらい、非常事態に備えていく。	運営推進会議等を通じて、地域住民の協力と参加を得て、夜間想定避難訓練を実施し、電気、水道、ガス等が使用不可の場合の非常食、飲料水、毛布等の備蓄が望まれる。	12ヶ月
3	42	食事を楽しむことの出来る支援	食事は利用者の健康の源であるので、今以上に、食欲増進のための様々な工夫を実施し、健康増進に繋げていく。	利用者と職員が、同じテーブルで、楽しい会話の中で、食事をしたり、毎日の検食担当者を決め、色合い、味、盛り付け、量等記録していく。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。